



こんにゅうは

日本共産党

西野さち子

くらしの目線で市政を変える

党市議団 議会報告懇談会を開催



日本共産党市会議員団は、2月22日に提

案されている予算案を報告し、市民の皆さんからのご意見をお聞きする懇談会を開きました。山中団長から予算案の特徴として「地方自治を踏みにじる安倍内閣の路線を踏襲し、投資的経費の増大、民間企業の呼び込み、徹底した「行革」の断行、社会保障費などの更なる抑制を進める内容になっている。生活保護費2.5億円削減、全員制の中学校給食、中学校卒業までの子どもの医療費無料化、中小企業支援などの願いには答えず、市民生活を

いつそう深刻な事態に追いやる予算です」と報告がありました。井坂幹事長からは「公共料金の値上げ総額は2億9千万円、一方で大型公共工事の見直しはありません。そして、財源不足の解消のためとして、市職員の削減は179人

値上げの主なもの

- ・深草墓園納骨堂使用料
永年納骨(6千円 2万円)
短期納骨(3千円 1万2千円)
樹木型納骨施設使用料(新規)
京都市民(18万円)元京都市民(36万円)
- ・スズメバチ駆除自己負担
(無料 1万円)
- ・介護保険料
第1号被保険者(40歳~64歳)
基準月額(6080円 6600円)

です」と報告され、参加者からは「周辺部は市のサービスから排除され放置されている。暮らしの足の確保に支援がほしい。」「入学準備金の前倒し支給はうれしいが、それ以外のクラブのユニフォーム代やシューズ代の負担が大変。」「西陣織の活性化は観光に終わるのか。それでは技術は引き継げない」と深刻な話が多く出され、時間が足りませんでした。

知事選予定候補

福山和人さん

伏見で訴え

2月14日に、知事選挙に立候補を表明されている「つなぐ京都」の福山秀人さんが、東大手筋で訴えました。市民団体の方や色々な労働組合の方々も参加されました。「山田知事の悪い所は取り入れて生かしていきたい。しかし、中小企業支援をおざなりにしていたり、子育て支援に力を入れないのはダメ。若者が安心して学ぶことができるように、府立の学校は授業料を無償にします。原発の再稼働は認めません。憲法を生かし、府民のくらし最優先の府政を作りましょう」と訴えられました。その後、府会議員の補欠選挙に立候補を予定している、日本共産党の西山のぶひでさんが「何としても議会に送ってください。子育て支援、給付性奨学金を実現させてください」と訴えました。



2月予算議会の主な日程

- ・予算特別委員会局別質疑 2月26日~3月5日
- ・市長総括質疑 3月9日、12日
- ・常任委員会 3月13日、14日
- ・閉会本会議 3月20日

ぜひ、傍聴において下さい。また、インターネットでも見ることが出来ます。